2021年7月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　　載　　内　　容
論文・総説		
1	著者名	Ambe K[1], Suzuki M[1], Ashikaga T, Tohkin M[1]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] Department of Regulatory Science, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Nagoya City University
	論文題名	Development of quantitative model of a local lymph node assay for evaluating skin sensitization potency applying machine learning CatBoost
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	Regulatory Toxicology and Pharmacology, 2021, 125, 105019, https://doi.org/10.1016/j.yrtph.2021.105019.
学会発表・セミナー発表		
1	発表者名（口頭）	山本 直樹[1, 2], 平松 範子[1], 佐々木 洋[2], 近藤 征史[1], 小島 肇
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] 藤田医科大学 研究支援推進本部 治験・臨床研究支援センター [2] 金沢医科大学 医学部 眼科学講座
	演題名	医薬品等の生殖毒性試験代替法に有用なヒト由来iPS細胞株の新規開発と応用
	学会名, 発表年月及び場所	第48回日本毒性学会学術年会 (2021.7.7, 神戸)
2	発表者名（口頭）	小島 肇
	演題名	医薬品の安全性評価に用いる動物実験代替法の現状と課題
	学会名, 発表年月及び場所	第48回日本毒性学会学術年会 (2021.7.8, 神戸)
3	発表者名（口頭）	田中 利男[1, 2], 小島 肇 , 藤原 道夫[3], 森 華奈子[3], 山本 恭子[1, 2], 山田 佳代子[1, 2], 水谷 有香[1, 2], 森 葵泉[1, 2], 加藤 由起子[1, 2]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] 三重大学大学院医学系研究科システムズ薬理学 [2] 三重大学メディカルゼブラフィッシュ研究センター [3] アステラス製薬株式会社安全性研究所
	演題名	ゼブラフィッシュ発生毒性試験における品質管理プロトコルの確立
	学会名, 発表年月及び場所	第48回日本毒性学会学術年会 (2021.7.9, 神戸)
4	発表者名（口頭）	西田 明日香[1], 足利 太可雄, 大野 彰子, 飯島 一智[2]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] 横浜国立大学 大学院 理工学府 [2] 横浜国立大学 大学院 工学研究院
	演題名	銀ナノ粒子の抗原提示細胞活性化能の解析
	学会名, 発表年月及び場所	第48回日本毒性学会学術年会 (2021.7.9, 神戸)
5	発表者名（ポスター）	田邉郁也[1], 石川晋吉[1], 石森かな江[1], 橋爪恒夫[1], 善本隆之[2], 足利太可雄
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[1] 日本たばこ産業株式会社 R&D グループ 製品評価センター [2] 東京医科大学 医学総合研究所 免疫制御研究部門
	演題名	呼吸器特異的な免疫応答を再現したin vitro呼吸器感作性試験の開発
	学会名, 発表年月及び場所	第48回日本毒性学会学術年会 (2021.7.7-9, 神戸)